

経済の問題

開倫塾  
林 明夫

- 1．日本や世界で最近起こった重要な出来事を、時事問題といいます。今回のペイオフは日本の銀行で初めて行われましたので、来春の私立中学校入試に出題される可能性が大です。ただし、難しい内容ですので、ペイオフとは何かを説明させる形での出題ではなく、このようなことを何と何というかという形での出題になると推測されます。
- 2．この際、2008年からの世界経済危機からごく最近の円高まで、日本や世界の経済の動きを自分なりにまとめておくことをお勧めします。日本銀行など各国の中央銀行や一般の銀行の役割や相違点、金利はどのように決めるのかなども、自分なりに理解しておくことも大切です。
- 3．今、私たちの生きている世界では、原則として自分の行動は自由だが、自分の行動の責任は自分で取る「自己責任」の考えが大切にされています。政府は1000万円までの預金は保護する。しかし、政府の責任はそこまで。それ以上は自己責任。日本では1000万円を超える預金は自己責任。お金をどこに預けるかも、1000万円を超えたら自己責任ということも、今回のペイオフは国民に実感させました。お金のしくみ、経済のしくみを考える上でも、今回のペイオフはとても大切な問題を私たちに投げかけています。
- 4．このペイオフは、私立高校入試や大学入試で、来春多くの高等学校や大学で出題される可能性が大です。難関私立高校や難関大学志願者は、新聞の記事だけでなく解説記事も丁寧に読み、ペイオフについての自分なりの考えをまとめておいて下さいね。

《最後に一言》

- 5．木村剛さんは、なぜこの銀行をつくったのでしょうか。資金繰りに悩む中小企業を高利の街金とよばれる金融業者に行かせずに立ち直らせるためであったと聞いております。それだけに、本人が証拠隠滅で逮捕されたり、ペイオフにまでなったことを残念に思います。

以上